

草莽諸隊員名簿について

—東海道の報国隊・赤心隊・伊吹隊の場合—

高 木 俊 輔

1 はじめに

明治初年の草莽諸隊について、すでに私は、北九州地方の花山院隊、東山道地方の赤報隊（嚮導隊）と高松隊、について事例研究の結果を発表してきた¹⁾。本稿は、東海道地方の遠州報国隊、駿州赤心隊、豆州伊吹隊の隊員名簿の集成に焦点をあてているが、私の明治初年草莽諸隊研究における基礎作業の一環をなすものである²⁾。

明治維新に際してつくられた草莽諸隊については、依然として、それぞれの隊の行動の軌跡の詳細なあとづけ、隊内構成・人員構成の実証的整理、が課題となっているように思われる。もちろん、諸隊研究が隊内の問題にばかりこだわるようでは、歴史的な位置づけとしては不十分であり、その隊が結成にいたる地域的条件、主たる隊員の出身村落や出身地域の伝統的な意識、学問的・文化的諸条件、また地域的矛盾の展開のあり方、さらに諸隊の動きとかわる諸藩の勤王への態度転換の情勢、藩権力と草莽隊員との関連の問題、草莽隊の独自の動きの解明、諸藩や新政府の草莽諸隊対策の展開、等々についての究明が必要である。しかしながらここでは、隊員構成に主題を限定し、この主題とかわるかぎり東海道地方の草莽諸隊研究のアウトラインにふれておくことにしたい。そして、隊員名簿の整理結果を隊ごとに提出しておこう。諸隊の隊員名簿は、研究の本論をなすというより前提的作業として作り上げるべきものであるが、その精粗が隊員分析の内容を左右するといつてよく、その意味で、隊員名簿の詳細化はより重視されなくてはならないであろう。

2 東海道草莽諸隊の隊員名簿に関する文献の概要

東海道地方の草莽諸隊に関する文献は、草莽諸隊の中では豊富な方に属する。文献と史料に関する全体にわたる点は、静岡県神社庁編・発行の『明治維新・静岡県勤皇義団事歴』（1973）附録に委ねて、ここでは、刊行された文献で名簿とかわるものについてのみ検討しておこう。

刊行文献のうちで一番古いものは、史談会編『国事鞅掌・報効志士名録』一・二輯（1909、1911）であろう。その静岡県部には、報国・赤心両隊のことだけがとり上げられている。まず、報国・赤心の隊史の概略が記され、報国隊では出征隊員87人、郷地に留り隊費調弁に奔走した者12人の人名をあげ、大久保忠尚・幡鎌幸雄・山崎八峰・山崎富丸・山崎豊・桑原真清・賀茂水穂、また杉浦大学・石野大和の略歴がある。赤心隊では、大宮組21人、府辺組18人、山西組2人、それに組外有志として甲斐・相模国関係7人をあげ、太田健太郎・森元温・富士重本の略歴が付されている。このほかの文献は、多くの場合隊ごとに分かれている

ので、隊ごとにみていくことにする。

報国隊について：報国隊幹部であり、のちに陸軍大将となった大久保初太郎（春野）の伝記である中村修二『大久保春野』（1920）は、戊辰期の隊活動以後の動きについて、「徳川宗家府中藩移封反対歎願書」や招魂社関係史料をも所収している。山崎常磐は報国隊関係史料の蒐集につとめ、報国隊頭彰に尽力した人であるが、同氏刊『遠州報国隊略歴』（1922）は、明治26年（1893）にまとめた長谷川貞雄の手記をベースとし、明治45年（1912）に桑原楯雄、大久保春野と山崎らが手を入れて内閣に表彰申請をしたものをもとにし、さらに山崎が増補を加えて刊行したのであるが、出征部第1類27人、同第2類60人、留守部10人、残留部69人、計166人の名前を所収している。昭和期になって、上村良平「遠州報国隊実歴概要」（『静岡県郷土研究』第12輯、1939）は、出征部第1類27人、同第2類60人、留守部は幹部11人を含み219人、計306人の人名を列挙している。この名簿をもとに、桑原家史料「隊員名簿」などを参照し、出身村落や神社名などを加えたものが前出『明治維新・静岡県勤皇義団事歴』（1973）附録の「遠州報国隊員名簿」である。名簿と関連する主たる文献は以上の如くである。報国隊の位置づけについては本稿では立ち入らないが、『磐田市誌』の下巻（1956）所収の高田岩男「遠州報国隊の運動」が、もっともすぐれた内容をもっていることだけを指摘しておきたい。

赤心隊について：もと赤心隊幹部で焼津神社神主であった鈴木（のち桑原）楯雄の稿本『駿州赤心隊実歴概要』（1913）は、内閣への表彰上申書に添付したものであるが、旧同志の間に広く流布していたものと思われる。これには、出征部第1類10人、同第2類39人の人名を所収している。静岡県郷土研究調査部「駿州赤心隊実歴概要」（『静岡県郷土研究』第11輯、1938）は、まとめた名簿を所収しており、出征部第1類10人、同第2類40人、留守部20人、計70人となっている。また佐野武男「駿州赤心隊」（『静岡県郷土研究』第19輯、1943）は出征部の人数は同じ、留守部6人、計56人を名前だけを載せている。一方、富士山本宮浅間神社には、多くの赤心隊関係史料が集められているが、同社務所が明治百年を記念して刊行した若林淳之『駿州赤心隊』（1968）は、赤心隊研究の学問的水準を示すものでもある。この本に所収の赤心隊名簿は、菊川町築地家文書の「駿河国赤心隊姓名書——府辺組控——」であるが、これは赤心隊員に関する公式文書であるとされている。大宮組37人、府辺組52人、山西組21人、それに1人追加して111人を赤心隊員としているのである。その後、内海家文書から駿東赤心隊の名簿が明らかにされ、前出の『明治維新・静岡県勤皇義団事歴』（1973）は、この「駿東赤心隊同盟人員」49人も所収しており、私はこれらすべての名簿をつき合わせてまとめた結果、178人の隊員名簿をつくることになった。

伊吹隊について：この隊は、伊豆国三島大明神神主の矢田部家を中心とし、その社家一統を編成した隊といってよいものである。史料も、矢田部盛治の残した日記より盛治の孫にあたる矢田部盛穂が関係記事を抜書してまとめた「伊吹隊奉公誌」（1939編、静岡県立中央図書館蔵）が典拠となっている。隊史としては、伊藤三千夫「伊吹隊の義挙と草莽の志」（『矢田部式部盛治』1956）、同氏「維新の道ひとすじ伊豆伊吹隊」（三島大社社報『お明神さま』第17号、1968）があり、後者には玉鉦隊員の氏名が載せられた。やはりこれらの名簿に関するところのみ前出『明治維新・静岡県勤皇義団事歴』（1973）に所収されたが、本稿の名簿には、玉鉦隊員も加えて整理し、110人の名前をのせることになった。

3 東海道草莽諸隊隊員名簿

以上にみた諸文献から、主として村落別にまとめた名簿を提出する段取りになったが、全体的な特徴について若干ふれておくことにしたい。

草莽諸隊の中で、100人をこえる隊でそのほとんどが神主によって占められているという東海道地方の諸隊は、それだけで特異であるといってよい。若干の商人、あるいは社領農民の加入はあるが、9割以上が御師をも含めた神職者であったのである。この神職者たちは、豪農としての側面、あるいは領主としての側面、などを持つ場合もあり、その性格づけは単純ではない。本稿は主題の限定により、この神職者たちの性格づけに立ち入ることはしないが、神職者の維新運動への参加が、諸隊編成に及んだものであったのである。ともかくも、各隊の地域的分布の集計分だけを示した上で、具体的な名簿を提出することにした。

註

- 1) 拙稿「戊辰内乱期における草莽諸隊——相楽総三隊の分析——」(『地方史研究』60号, 1962)をはじめとし、赤報隊と相楽総三については、『維新史の再発掘——相楽総三と埋もれた草莽たち——』(NHKブックス, 1970)、「明治維新时期草莽諸隊の構成——相楽総三とその同志について——」(『徳川林政史研究所研究紀要』1970)、などとして発表し、隊の性格づけは、名簿とともに拙著『明治維新草莽運動史』(勁草書房, 1974)に最終稿といえるものを所収した。また高松隊については「戊辰内乱と草莽諸隊——東山道の高松隊を中心として——」(『日本歴史』198号, 1964)、花山院隊については「北九州草莽隊花山院隊の研究」(『静岡大学教養部研究紀要』1973)を発表し、同じく前出の『明治維新草莽運動史』に所収した。
- 2) 東海道草莽諸隊につづいて、畿内地方の諸隊、尾張藩下の草莽諸隊、北越地方の草莽諸隊などについても作業をしているところである。中でも、北越地方の場合は、真水淳「北辰隊隊員名簿について」(『新潟史学』第12号, 1979)などのようなすぐれた実証的成果が出されつつある。

◎本稿は昭和56年度文部省科学研究補助金(一般研究C)による研究の一部である。記して謝意を表す。

○遠州報国隊関係地域分布

村名	人数	和地村	6	笠井村	2	浅野村	1	
浜名郡	浜松町	19	白脇村	5	曳馬村	2	入野村	1
	積志村	21	豊西村	5	新居村	1	高塚村	1
	蒲村	12	市野村	5	天神町村	1	富塚村	1
	天王村	11	和田村	4	富塚村	1	中瀬村	1
	芳川村	11	中之町村	4	貴平村	1	吉野村	1
	雄踏村	9	美島村	3	小野田村	1		168人
	新所村	8	白須賀町	3	五嶋村	1		
	伊佐見村	7	飯田村	3	知波田村	1	引佐郡	
	神久呂村	7	篠原村	3	成島村	1		井伊谷村
			竜池村	3	舞坂町	1	奥山村	5

西浜名村	5	向笠村	3	雨桜町	6		19人
中川村	3	西浅羽村	3	垂木村	2	その他	
都田村	3	東浅羽村	2	原谷村	2	安倍郡府中	2人
伊平村	1	光明村	2	東山口村	1	浜松藩	4人
気賀村	1	竜川村	2	(村名不詳)	1	水戸藩	1人
	23人	三川村	2		12人	不	21人
惣田郡		飯田村	1	周知郡		合	計
見付町	4	非通村	1	一ノ宮村	5		306人
中泉町	5	袋井村	1	山梨村	5		
御厨村	5	十束村	1	久努西村	2		
掛塚町	5	田原村	1	宇刈村	2		
上阿多古沢村	1	二俣町	1	飯田村	1		
下阿多古沢村	6	敷知村	1	園田村	1		
久努村	6		56人	森町	1		
長野村	3	小笠郡		(村名不詳)	2		

・駿州赤心隊関係地域分布

郡村名	人数		
富士郡大宮町	39	〃 黒俣村	1
駿東郡沼津駅	6	有渡郡三保村	5
〃 青野村	2	〃 八幡村	4
〃 大平村	1	〃 草薙村	3
〃 岡之宮村	1	〃 清水尻	1
〃 香貫村	1	〃 上清水村	1
〃 島谷村	1	〃 下清水村	1
〃 茱萸沢村	4	〃 江尻村	1
〃 菅沼村	1	〃 安古村	1
〃 須走村	19	〃 北安東村	3
〃 須山村	5	〃 南安東村	2
〃 西田中村	2	益津郡塙津村	4
〃 東田中村	2	〃 益津村	1
〃 八幡村	1	〃 郡村	1
〃 原駅	1	志太郡八幡村	3
〃 深良村	1	〃 花倉村	1
〃 古沢村	1	〃 内瀬戸村	1
庵原郡町屋原村	1	〃 瀬戸谷村	1
安倍郡府中	28	〃 一ノ瀬村	1
〃 富沢村	1	〃 一色村	1
		〃 三輪村	1
		〃 滝沢村	1

・豆州伊吹隊関係地域分布

郡村名	人数		
君沢郡三島神社	89	〃 相賀村	2
〃 柏谷村	3	〃 田尻村	1
〃 堀上村	1	〃 田尻北村	1
〃 四日町村	1	〃 落合村	1
〃 塚本村	1	〃 浜当目村	1
〃 原木村	1	〃 岡部駅	1
〃 宇佐美村	1	〃 藤枝駅	1
〃 多田村	1	〃 川根田代村	2
〃 南江間村	1	〃 川根堀之内村	1
〃 北江間村	1	〃 川根下泉村	1
〃 柏久保村	1	〃 笹間村	1
〃 間宮村	1	甲斐巨摩郡荒川村	1
〃 上多賀村	1	〃 御嶽山	1
田方郡加殿村	2	〃 諏訪村	2
〃 北条郷	2	〃 高畑村	1
〃 田中郷	3	相模高座郡寒川村	1
		〃 羽鳥村	1
		鎌倉郡戸塚駅	1
合	計	178人	

凡例

1 「遠州報国隊関係名簿」について

- ① 名簿中の年齢は出征部の者のみについて、明治元年のかぞえ年で示した。
- ② 区分欄のⅠは、出征部第1類で「御守衛大砲隊」に加わった者を示し、Ⅱはその他の出征隊員である。また、守は留守部の幹部であり、記入なしはその他の残留者である。

- ③ 摘要欄の石高は、社領の石高であり、山本金木『報国隊陣中日記』より判明分のみを記入した。
- 2 「駿州赤心隊関係名簿」について
- ① 区分1欄の、大は大宮組、府は府辺組、山は山西組、東は駿東赤心隊、のそれぞれの隊員であることを略記したものである。
- ② 区分2欄の、Iは出征部第1類(御守衛大砲隊)であり、IIは出征部第2類(その他の出征隊員)である。
- ③ 摘用欄中の(亦)は、本宮浅間神社大宮司富士亦八郎支配下に属する者であることを示し、石高は、鈴木楯雄「隊中高並=姓名取調書」より判明分を記入した。
- 3 「豆州伊吹隊関係名簿」について
- ① 玉鉾隊員も加えた。
- ② 身分欄の社家には、三島神社の社領農民(若干)と、矢田部式部家来(5人)を含む。
- ③ 摘要欄中の○印は、有栖川宮警衛奉仕者(72人)を示した。

遠州報国隊関係名簿

郡	村	身分	氏名	別名	年令	区分	摘要
浜名郡	浜松三組町	神主	木部次郎	木部 貢	19	I	三組町秋葉社別当のち陸軍大計吏(3石) 神明宮
〃	浜松三組町	神主	森 讚 岐				
〃	浜松利町		駒 尾 左 内				
〃	浜松利町	社家	嶋 左 京				諏訪大明神
〃	浜松利町		嶋 益太郎				杉浦大学附属
〃	浜松利町	神主	杉 浦 大 学	三 浦 一 衛	41	II	諏訪大明神 明2年8月招魂(300石) 社司
〃	浜松利町		杉 浦 定若丸				
〃	浜松利町	社家	杉 本 平 馬	永 井 直 光	20	II	諏訪大明神 のち海軍大計吏
〃	浜松利町	商人	中 村 孫太郎		53	II	浜松宿町人
〃	浜松利町	神主	森 信濃守				五社大明神
〃	浜松利町	神主	森 縫之助	森 美次郎	28	I	五社大明神 明2年8月招魂(300石) 社司
〃	浜松利町	社家	森 下 喜久蔵	森 下 菊 蔵			五社大明神 森信濃守附属
〃	浜松鴨江町	社家	大 杉 左 仲				天王宮
〃	浜松鴨江町		水 品 采 女				
〃	浜松新町	医師	足 立 良 貞	足立 静次郎			
〃	浜松田町	神主	佐 藤 左衛門	佐藤 勘解由 佐藤 信 照	30	II	稻荷明神 (4.9石)
〃	浜松元魚町		高 柳 族				
〃	浜松		近 藤 助四郎				
〃	浜松		普 大 寺				
〃	積志村有玉		安 達 宮 内	幡 屋 宮 内			
〃	積志村有玉		有賀八十右衛門				
〃	積志村有玉	神主	内 山 式 部				神明宮
〃	積志村有玉	神主	小 木 左 京				八幡宮

〃 積志村有玉	神主	黒田常陸			神明宮	
〃 積志村有玉	神主	源馬因幡			神明宮	
〃 積志村有玉	神主	源馬和泉			神明宮	
〃 積志村有玉	神主	源馬徳次郎			神明宮	
〃 積志村有玉	神主	鈴木左近			八幡宮	
〃 積志村有玉	神主	高林一角			神明宮	
〃 積志村有玉	神主	高林右内			八幡宮	
〃 積志村有玉	神主	高林日向			神明宮	
〃 積志村有玉	神主	高林兵衛	高林 巖		神明宮	
〃 積志村上大瀬	神主	名倉土佐			天王社	
〃 積志村上前島	神主	斎藤肥後			白山宮	
〃 積志村上前島	神主	橋本権兵衛			水神社	
〃 積志村上前島	神主	吉田豊前	吉田 越前		八幡宮	
〃 積志村西ヶ崎	神主	吉田相模			八幡宮	
〃 積志村万斛	神主	黒岡重太夫	黒岡 市三郎		天白社	
〃 積志村万斛	神主	鈴木権右衛門			湯走権現	
〃 積志村万斛	神主	鈴木主水			牛頭天王社	
〃 蒲村楳松		熊岡大和	熊岡 多一郎			
〃 蒲村大蒲		蒲市右衛門	鈴木市右衛門			
〃 蒲村大蒲	神主	蒲惣檢校		49 II	神明宮	(260石)
〃 蒲村神立	社家	磯部求馬			神明宮	
〃 蒲村神立	社家	磯部外馬			神明宮	
〃 蒲村神立	社家	磯部頼母			神明宮	
〃 蒲村神立	社家	上村左近			神明宮	
〃 蒲村神立	社家	鈴木数馬	鈴木 静馬		神明宮	
〃 蒲村神立	社家	鈴木左仲			神明宮	
〃 蒲村神立	社家	鈴木主計			神明宮	
〃 蒲村神立	社家	鈴木右馬			神明宮	
〃 蒲村神立	社家	尾藤右内			神明宮	
〃 天王村	神主	石津出雲	石津 貞雄	31 I	牛頭天王	(4石)
〃 天王村下堀	神主	鷹森主水	竹山 主水	39 I	六所大明神	
〃 天王村	神主	鷹森主馬	竹山 主馬	19 I	天白社	
〃 天王村	農民	鷹森仙次郎	竹山 仙次郎	35 I		
〃 天王村	神主	鷹森民部	竹山 民部	33 I	天王社・稻荷社	のち陸軍二
〃 天王村	農民	鷹森長左衛門	竹山 長三郎	17 II	等監督	

〃 天王村	農 民	鷹 森 万兵衛	竹山 万兵衛	22	I	明 2 年 8 月招魂社司
〃 天王村	農 民	鷹 森 勝兵衛	柴田 勝平	23	I	
〃 天王村		竹 山 卯 吉	竹 山 勝 平	22	(2)	
〃 天王村中田	農 民	松浦治郎左衛門	松 浦 勉 志	27	II	明 2 年 8 月招魂社司
〃 天王村下石田	神 主	渡 瀬 式 部	松 浦 勉 志			六所大明神
〃 芳川村都盛	(神 主)	桑 原 権十郎	桑原 周太郎	20	II	四十六所大明神 (虎次郎支配の内 2 石)
〃 芳川村都盛	(神 主)	桑 原 清三郎				
〃 芳川村都盛	(神 主)	桑 原 善三郎	桑 原 兎 毛			桑原真清附属
〃 芳川村都盛	神 主	桑 原 虎次郎	桑 原 其 清	40	I	四十六所大明神 (80石)
〃 芳川村都盛	(神 主)	桑 原 虎 治				桑原真清俵
〃 芳川村都盛	(神 主)	桑 原 主 計	桑 原 一 江			桑原真清附属
〃 芳川村都盛	(神 主)	桑 原 保五郎				桑原真清附属
〃 芳川村都盛	(神 主)	桑 原 和四郎	今泉 小兵衛			桑原真清附属
〃 芳川村都盛	神 主	高 辻 三 郎	桑 原 千 寿	36	I	四十六所大明神 (2石)
〃 芳川村古川	社 家	島 頼 母	磯部 与三郎	39	II	桑原真清弟 五社大明神
〃 芳川村三河島	神 主	渡 辺 能 登		50		水神社
〃 雄踏村宇布見	神 主	濕美四郎左衛門				山王宮
〃 雄踏村宇布見	神 主	濕美 新左衛門				白山宮
〃 雄踏村宇布見	神 主	賀 茂 美豆穂	賀 茂 備 後	26	I	金山大明神 のち踏国神社祠
〃 雄踏村宇布見	神 主	中村 源左衛門	賀 茂 備 後	29	守	天神宮
〃 雄踏村宇布見	神 主	中村 左近次郎				天神宮 中村源左衛門俵
〃 雄踏村宇布見	神 主	中 村 主 税	賀 茂 主 税	24	II	天神宮 (50石)
〃 雄踏村宇布見	神 主	吉 田 肥 後				米大明神
〃 雄踏村山崎	神 主	豊 田 駒次郎				八社大明神
〃 雄踏村山崎	神 主	豊田 定右衛門				八社大明神
〃 新所村岡崎		伊藤 孫左衛門				
〃 新所村岡崎	神 主	菅 沼 荒次郎				八幡宮
〃 新所村岡崎		菅沼八郎右衛門				
〃 新所村岡崎	神 主	忠 内 筑 前				八幡宮
〃 新所村		木 本 藤一郎	木 本 五 平			
〃 新所村	神 主	内 藤 山 城	中 村 東 海		守	八幡宮・神明宮
〃 新所村		中 村 又 一 郎				
〃 新所村	神 主	芳 賀 大 和	芳 賀 静 枝			八幡宮
〃 伊佐見村佐浜	神 主	倉 田 源 六	倉 田 兼 三 郎			貴船大明神
〃 伊佐見村伊佐地	神 主	鈴木 孫右衛門				八幡宮
〃 伊佐見村伊佐地	神 主	野 島 長 太 夫				熊野社

伊佐見村大人見	神主	河島大和			白山権現社	
伊佐見村大人見	神主	袴田宮内			八幡宮	
伊佐見村古人見	神主	鈴木藤左衛門			牛頭天王社	
伊佐見村	神主	古橋七兵衛			若一王子社	
神久呂村神谷	神主	池谷兵太夫			八幡宮	
神久呂村神谷	神主	池谷兵太夫			(ダブリ?)	
神久呂村神谷	神主	土屋左近			神明宮	
神久呂村神谷	神主	和田久宮内右衛門			牛頭天王社	
神久呂村志津呂	神主	高部豊前	高部千秘		八幡宮	
神久呂村志津呂	(神主)	高部斎宮			八幡宮	高部豊前倅
神久呂村大久保	僧侶	妙香城寺				
和地村	神主	江間一郎次			水神社	
和地村	神主	江間浪江	江間六郎	33 II	白山宮	
和地村	神主	辻村駿河	辻村吉野	21 II	八王子大明神	
和地村	神主	中村主水			琴宮	
和地村	神主	宮本八太夫			天王社	
和地村		宮沢藤兵衛				
白脇村	神主	大石長門	大石六郎	守	神明宮	
白脇村三島		阿部内記				
白脇村三島	神主	土屋右内			浜松明神	
白脇村寺脇	神主	鈴木治郎右衛門			天王社	
白脇村白羽	神主	宮松七郎左衛門	宮松七一郎		春日大明神	
豊西村羽鳥	神主	清水治太夫			八幡宮	
豊西村恒武	神主	田辺出羽	田辺静		六所大明神	
豊西村貴平	神主	内藤刑部			八幡宮	
豊西村常光	神主	花木宮内			常光利	
豊西村羽鳥	神主	松嶋右門介	松嶋多門之介		若一王子社	
市野村上石田	神主	犬塚主水			貴船大明神	
市野村上石田	神主	鈴木鞠負			八幡宮	
市野村小池	神主	須貝丹後			八王子	
市野村	農民	斎藤伝兵衛	斎藤伝平	27 II		
市野村	神主	若松駿河	若松保穂	31 II	熊野権現	(1.4石)
和田村龍光		伊藤主馬				
和田村北島	神主	大橋治郎	大橋島太郎	19 II (2)	八王子社	(4石)
和田村安間	神主	金原国太郎	金原明德		天王社	
和田村薬師	神主	鈴木権兵衛	鈴木健吾	21 II	白山宮	(3石)

〃 中之町村壹場	神	主	金原左近		八王子社
〃 中之町村大明神	神	主	守屋志津馬		松尾大明神
〃 中之町村大明神	神	主	守屋定馬		松尾大明神
〃 中之町村	神	主	村越市正		牛頭天王
〃 美島村横須賀	神	主	小杉兵庫		若宮
〃 美島村横須賀	神	主	吉田上総		諏訪大明神
〃 美島村高畑	神	主	山田丹波		天王社
〃 白須賀町			迹見玄斎	迹見菅満	
〃 白須賀町			内藤駿河		
〃 白須賀町長谷	神	主	夏目大和		八幡宮
〃 飯田村新見	神	主	竹山重太夫		六所大明神
〃 飯田村新見	神	主	永田三郎四郎	永田三郎次郎	八幡宮
〃 飯田村	神	主	玉木芳造		稻荷社
〃 篠原村			鈴木琢磨	鈴木六右衛門	
〃 篠原村馬郡	神	主	菅沼文右衛門		春日大明神
〃 篠原村坪井	神	主	橋原七郎右衛門		稻荷社
〃 竜池村高齒			岩品彦七		
〃 竜池村永島	神	主	市川又左衛門		大梵天
〃 竜池村永島	神	主	今村出羽		天王社
〃 笠井町	神	主	神谷上総	神谷直江	春日大明神
〃 笠井町	神	主	山下眞	山下佐次兵衛	住吉大明神
〃 曳馬村助信	神	主	内藤三郎四郎	内藤半太	神明宮
〃 曳馬村八幡			金原雅之助	金原雅	
〃 浅場村伊場	神	主	岡部次郎左衛門		賀茂新宮
〃 新居村	神	主	田代若狭	田代千座	淡大明神
〃 入野村	神	主	小田木久五郎	小田木休五郎	八幡宮
〃 小野田村			袴田多左衛門	袴田太左衛門	
〃 高塚村	神	主	池谷斎宮		神明宮
〃 貴平村			太田利右衛門		
〃 富塚村	神	主	飯田頼母		小安、神
〃 富塚村	社	家	松本頼母	松本政直 松本爲五郎	27 II 諏訪大明神
〃 五嶋村松嶋	神	主	松嶋五右衛門		六社
〃 知波田村大知波	神	主	岡田土佐	岡田美都衛	八幡宮
〃 中瀬村上島	神	主	小倉大隅		天王社
〃 成馬村船越一色	神	主	河合次郎八	河井次郎八	浜松
〃 舞坂村	神	主	高柳石見		舞阪大明神

〃 天神町村	神	主	水谷 泰 助	水谷 泰 次	23	II	稲荷大明神	
〃 吉野村小池	神	主	馬淵 小源太	馬淵 古 去			若一王子社	
引佐郡井伊谷村横尾	神	主	大石 日 向	大石 真 管	39	II	水神社	(3石)
〃 井伊谷村	神	主	中井 七 郎	中井 伊 賀	23	II	二宮大明神	(4.5石)
〃 井伊谷村			中村 伊 賀	中 伊 真 雄				
〃 井伊谷村花平	神	主	中山 内 記	中山 登	25	II	若宮大明神	
〃 井伊谷村	神	主	山本 金 木	山本 大 隅	43	I	井伊八幡宮	(15石)
〃 奥山村狩宿	神	主	岩田 長兵衛	岩田 清 根	36	II	牛頭天王社	
〃 奥山村狩宿	神	主	岩田 九八郎		33	II	牛頭天王社	岩田長兵衛の弟
〃 奥山村狩宿	神	主	夏目 嘉兵衛	夏目 穂 摘	28	II	六所大明神	
〃 奥山村狩宿	神	主	峰野治郎左衛門	夏目 穂 摘	26	II	六所大明神	
〃 奥山村谷津	神	主	野沢与一左衛門	野沢 清 人	26	II	六所大明神	
〃 西浜名村三ヶ日	神	主	梶 石 見	梶 勝 茂	42	I	浜名惣社神明宮	(42石)
〃 西浜名村三ヶ日	神	主	梶 大 和	梶 栄 雄	33	II	浜名惣社神明宮	(21石)
〃 西浜名村宇志	神	主	片山 讃 岐				八幡宮	
〃 西浜名村岡本	神	主	神田 什				羽衣社	
〃 西浜名村下尾奈	神	主	外山 土 佐				神明宮	
〃 中川村瀬戸	神	主	石野 大 和		28	II	三島社	(3石)
〃 中川村祝田	神	主	萩原 山 城	萩原 環	40	II	羽鳥大明神	(5石)
〃 中川村刑部	神	主	宮司 将 監	宮司 真 折	41	II	神明宮	(15石)
〃 都田村吉影	神	主	影山 出 雲		58	II	八幡宮	(3石)
〃 都田村下都田	神	主	宮司 相 模	宮司 市ノ木	25	II	神明宮	(3石)
〃 都田村下都田	神	主	宮司 長 門	宮司 隆	40	II	神明宮	(4石)
〃 伊平村黒田	神	主	宮田重郎右衛門	宮田 重 男	24	II	六所大明神	のち陸軍
〃 気賀村	神	主	沢木 近 江	沢木 乾 雄	60	II	牛頭天王社	(3石)
磐田郡見付町	神	主	大久保縫殿之助	大久保 忠尚		守	総社	
〃 見付町	商	人	上村 新之助	土岐村 尚 正	36	I		
〃 見付町	神	主	大久保 初太郎	堀江 提 一郎	24	I	淡海国王神社・舞事社(100石)	
〃 見付町	商	人	渡辺 平 助	大久保 春野	17	II	のち陸軍大将・男爵	
〃 中泉町			秋鹿 雁之助	秋鹿 政 朝				
〃 中泉町			秋鹿 内 匠	秋鹿 朝 敬				
〃 中泉町			秋鹿 道之助	秋鹿 朝 次				
〃 中泉町	社	家	大場 図 書	大場 重 光		守	八幡宮	
〃 中泉町	神	主	大場 隼 人	大場 重 多	20	I	中泉八幡宮	(10石)
〃 御厨村鎌田	神	主	安西 斎 宮	大場 崎 久	58	II	神明宮	のち二俣町山崎家を相続
〃 御厨村鎌田	神	主	安西 土 佐		50	II	神明宮	(100石)

〃 御厨村鎌田	神主	袴田 筑 後	袴田 款 曼	36	II	神明宮	(100石)
〃 御厨村鎌田	神主	袴田 多与治				神明宮	
〃 御厨村鎌田	神主	袴田民部右衛門				山王社	
〃 掛塚町川袋	医 師	石 川 愿 盘					
〃 掛塚町川袋	神主	大 石 九太夫				天王宮	
〃 掛塚町川袋	神主	長谷川伊左衛門	長谷川 貞敬			天王社	
〃 掛塚町川袋	神主	長谷川 権太夫	長谷川 貞雄	31	I	水神宮	のち貴族院勅選議員
〃 掛塚町川袋	神主	両 角 昇	両角 千之助			八幡宮	
〃 上阿多古沢村長沢		鈴 木 伊 勢					
〃 下阿多古沢村背谷		市 川 豊 後					
〃 下阿多古沢村渡ヶ島		鈴 木 石 見					
〃 下阿多古沢村渡ヶ島		平 田 治郎八					
〃 下阿多古沢村上野		梅 原 長 門					
〃 下阿多古沢村上野		滝 沢 周 防					
〃 下阿多古沢村石神		大 石 駿 河					
〃 久努村		足立 勘右衛門					
〃 久努村		足立 三郎兵衛					
〃 久努村		杉 村 吉 衛					
〃 久努村貫名		鈴 木 金三郎					
〃 久努村貫名		松 下 彦兵衛					
〃 久努村高部		寺井七郎右衛門					
〃 長野村前野	神主	鈴木 重右衛門	穂 積 豊	23	II	東八王子社	(15石)
〃 長野村前野	神主	鈴木太郎左衛門		49	II	神明宮	(30.8石)
〃 長野村舟明	神主	堀 内 主 水		45	II	六所明神	(25.5石)
〃 向笠村竹ノ内		寺 田 織 部					
〃 向笠村竹ノ内		村田 吉右衛門	村田吉左衛門				
〃 向笠村竹ノ内		山路五郎左衛門					
〃 西浅羽村浅田	神主	小 池 五太夫	小池 精一郎			浅間社	
〃 西浅羽村八幡	神主	安 井 出 雲		16	II	八幡宮	(35.5石)
〃 西浅羽村八幡	神主	安 井 山 城	安 井 浅 一	38	II	八幡宮	(35.5石)
〃 東浅羽村梅山	神主	浅 羽 帯 刀	浅 羽 出 雲 浅 羽 美 樹	34	I	八幡宮	(70石)
〃 東浅羽村梅山	神主	浅 羽 相 模	浅 羽 一 穂	38	II	八幡宮	(30石)
〃 光明村舟明	神主	渥 美 権太夫	渥 美 正 意	43	I	諏訪大明神	(8.6石)
〃 光明村舟明		川 島 近 江					
〃 竜川村伊砂		市 川 出 雲					
〃 竜川村伊砂		鈴 木 播 磨					

〃 三川村大谷	神主	大田 長兵衛				三島大明神	
〃 三川村川合	神主	久野次郎左衛門				八王子	
〃 飯田村	神主	村松 鞠負				天王社	
〃 井通村森本	神主	近藤 織江					
〃 袋井村川井	神主	木野 理兵衛	木野 武徳	20	I	十二所権現	(5.5石)
〃 十束村本郷	神主	帯金 讚岐	帯金 直枝	24	II	神明宮	(5石)
〃 田村 西島	神主	元場 治郎太夫	元場次郎太夫	21	II	天王社	(4.5石)
〃 二俣町鹿島	神主	大隅 孫之丞	大隅 権之丞			権ヶ脇社	
〃 敷地村	神主	伊藤 玄蕃	伊藤 八重喜	40	II	山王社	(15石)
小笠郡雨桜町下垂木	神主	近藤 内記	近藤 一馬	32	II	雨桜天王社	(4石)
〃 雨桜町		中山 広太郎	中山 光雄				
〃 雨桜町上垂木	神主	平尾 左京	平尾 八束	28	I	雨桜天王社 のち陸軍一等軍吏	(12.388石)
〃 雨桜町遊家	神主	山崎 富丸	山崎 一郎	24	II	雨桜天王社	(7.65石)
〃 雨桜町遊家	神主	山崎 豊	山崎 豊之助	22	I	雨桜天王社	
〃 雨桜町遊家	神主	山崎 石見	山崎 八峰		守	雨桜天王社	
〃 垂木村下垂木	神主	上村 橘太郎		25	II	雨桜天王社	(75石)
〃 垂木村宮部		高木 左京					
〃 原谷村本郷	神主	小沢 主税	小沢 力	28	I	五社八幡宮	(4.5石)
〃 原谷村西山		山崎 金右衛門					
〃 東山口村日坂	神主	朝比奈内蔵之進	菅田 東稲	25	I	日坂八幡宮 明2年8月招魂社司	(100石余)
〃 不詳		十束 国太郎					
周知郡一ノ宮村五川	神主	小国 覚之助	小国 真直 鈴木 覚之助 小国 重友 鈴木 浪江	28	I	一ノ宮 浪江の嫡子 明2年8月招魂社司	(590石)
〃 一ノ宮村五川	神主	小国 浪江			守	一ノ宮	
〃 一ノ宮村五川	社家	鈴木 周之助		37	II	一ノ宮(覚之助支配の内5石)	
〃 一ノ宮村五川	社家	増田 長門		48	II	一ノ宮(覚之助支配の内4石)	
〃 一ノ宮村米倉		山本 忠太夫					
〃 山梨村冲山梨		小野田 求馬					
〃 山梨村	神主	小野田 斎助	小野田 斎伯	48	II	五社大明神	
〃 山梨村上山梨	神主	西尾 棟	西尾 真俊	34	II	若宮八幡宮 のち海軍大計吏	(3石)
〃 山梨村	神主	幡鎌 左仲	幡鎌 幸雄		守	天王社	(18石)
〃 山梨村	神主	幡鎌 主計	幡鎌 隆俊		守	天王社	
〃 久努西村鶴松		永田 外記					
〃 久努西村堀越		諸井 主殿					
〃 宇刈村一色		富永 外記					
〃 宇刈村市場		河合 左門					
〃 飯田村飯田		村松 左京				磐田郡(分)	

〃 園田村草ヶ谷		久能主馬					
〃 森町天方		天方因書					
〃 不詳		北島宮内					
〃 不詳		戸塚忠太夫					
駿河国安倍郡府中安西町	医 師	海瀬光太郎	海瀬 玄亮男	27	II	明2年8月招魂社司	
〃 府中安西町	鉄 炮 師	原 嘉右衛門	原 嘉七郎	42	II	府中町人	
浜名郡浜松町	藩 士	志 賀 孫兵衛	志 賀 克 己	38	I	浜松藩 司会士 報国隊付添	
〃 浜松町	藩 士	篠 原 格之助		34	II	浜松藩 司会士 志賀孫兵衛 附属	
〃 浜松町	藩 士	松 原 庄太郎		18	II	浜松藩 司会士 志賀孫兵衛 附属	
〃 浜松町	藩 士	倉 田 伝 八				浜松藩	
常陸国茨城郡水戸	藩 士	杉 浦 鉄五郎		35	II	水戸藩 のち報国隊長	
—不詳分—	神 主	青 島 兵太夫				水神・八幡・日宮	
		池 谷 兵之進					
		稲 垣 主 殿					
	神 主	牛 銅 太兵衛				天王社	
		大 石 豊 前					
		大 塚 喜太夫					
	神 主	河 島 頼 母				米大明神	
	神 主	川 辺 近 江				八幡宮	
	神 主	久保田 式 部				権現	
	神 主	佐 藤 近 江				稻荷大明神	
	社 家	佐 藤 余 七				稻荷大明神	
		鈴 木 佐太夫					
		鈴 木 兵 庫					
	社 家	鈴 木 八重造				神明宮	
		竹田弥次右衛門					
	神 主	野 島 長太夫				熊野社	
	神 主	平 野 利兵衛				熊野社	
		堀内 甚五太夫					
	神 主	本 間 伊 豆				六所大明神	
		両 角 右 京					
	神 主	山 本 兵 治				八幡宮	

駿州赤心隊関係名簿

出身地	身分	氏名	別名	区分	区分	摘要
				1	2	
駿河国富士郡大宮町	大宮司	富士亦八郎	富士重本	大	I	赤心隊長 一ノ宮本宮浅間神社大宮司 (867.91石余)
〃 大宮町	(大宮司)	富士武丸	富士龍太郎	大	II	富士亦八郎嫡子
〃 大宮町	公文	富士宮内	富士宮次郎	大	II	一ノ宮本宮浅間神社公文 (80.62石余)
〃 大宮町	案主	富士内匠	富士匠三郎	大	II	一ノ宮本宮浅間神社案主 (44.62石余)
〃 大宮町		富士信綱				佐野武男論文より
〃 大宮町	家来	旭国造	旭国藏	大	II	(亦)
〃 大宮町	社人	井出鎌二郎	井出鎌太郎	大	II	(亦)井出愛之助(7.18石余)
〃 大宮町	社人	井出左次馬	井出鷄造	大	II	(亦) (10.0石)
〃 大宮町	社人	井出民部		大		
〃 大宮町	社人	大西北藏		大		(亦)
〃 大宮町	家来	坂口伊三郎	坂口猪三郎	大	II	(亦)
〃 大宮町	社人	四条主水		大		(亦)
〃 大宮町	社人	鈴木右京	鈴木源榮	大	II	(亦) (7.6石余)
〃 大宮町	家来	谷雄三	谷勇藏	大	II	(亦)
〃 大宮町	社人	錦織伊予	錦織孝一郎	大	II	(亦)米ノ宮浅間神社 (19.5石余)
〃 大宮町	家来	藤森共吉		大	II	(亦)
〃 大宮町	社人	深沢左馬之介		大		(亦)
〃 大宮町	社人	前島数馬		大		(亦)
〃 大宮町	社人	前島平内	前島平一郎	大	II	(亦) (7.2石余)
〃 大宮町	家来	南茂作		大	II	(亦)
〃 大宮町	社人	宮崎織部		大		(亦)
〃 大宮町	社人	宮崎清長	宮崎隆三	大	II	(亦) (26.0石余)
〃 大宮町	社人	宮崎春長	宮崎織部	大	II	(亦) (44石)
〃 大宮町	社人	山田玄蕃	山田嘉藤次	大	I	(亦) (8.6石余)
〃 大宮町	社人	鎰是主膳	鎰是九十郎	大	I	(亦) (26.9石)
〃 大宮町	社人	鎰是内記		大	II	(亦) (20石)
〃 大宮町	社人	鎰是登		大	II	(亦) (10.9石)
〃 大宮町	鍵取	笠井恭成		大		(亦)米ノ宮浅間神社
〃 大宮町	鍵取	佐野新藏		大		(亦)米ノ宮浅間神社
〃 大宮町	鍵取	塩沢源右衛門		大		(亦)米ノ宮浅間神社
〃 大宮町	鍵取	島田紋兵衛		大		(亦)米ノ宮浅間神社
〃 大宮町	鍵取	下村国太郎		大		(亦)米ノ宮浅間神社
〃 大宮町	鍵取	庄司平五郎		大		(亦)米ノ宮浅間神社

〃	大宮町	鍵取	原左近	原右近	大(II)	(亦)米ノ宮浅間神社	
〃	大宮町	鍵取	三好八郎	右衛門	大	(亦)米ノ宮浅間神社	
〃	大宮町	鍵取	望月	隼人	大	(亦)米ノ宮浅間神社	
〃	大宮町	鍵取	望月	力太郎	大	(亦)米ノ宮浅間神社	
〃	大宮町	鍵取	渡辺	利左衛門	大	(亦)米ノ宮浅間神社	
〃	大宮町	神主	雨宮	紀伊	大	舟我八幡宮	
安倍郡	府中大岩村	神主	惣社	宮内	志貴昌信	府留 府中惣社 府辺組隊長	
〃	府中山宮	奉幣使	東流	鯉十郎	府	府中浅間神社山宮	
〃	府中山宮	(奉幣使)	東流	保之助	府 II	府中浅間神社山宮 鯉十郎嫡子 (89.73石)	
〃	府中大里村	奉幣使	稲川	内膳	府 I	府中浅間神社 (177.81石)	
〃	府中宮ヶ崎町	(神主)	大井	求馬	大井菅麿	府留 府中浅間神社 のち引佐郡井伊谷神社 府中惣社	
〃	府中	神前役	小杉	直次郎	府	府中惣社 (15.18石+23石余)	
〃	府中	神前役	小杉	鯛次郎	小杉鯛二郎	府 II	府中浅間神社 (40石余)
〃	府中	庁守役	先光	右衛門	先光五十連心誨	府 I	府中浅間神社 (40石余)
〃	府中山宮	神前役	山宮	鎗次郎	山宮清忠	府 II	府中浅間神社山宮(12.8石余)
〃	府中	神主	新宮	兵部		府	府中浅間神社
〃	府中	神主見習	新宮	左近		府	府中浅間神社
〃	府中	神前役	新宮	鞠負		府 II	府中浅間神社 (25.854石+30.39石)
〃	府中	奉幣使	田中	柴十郎		府	府中浅間神社 (24.07石)
〃	府中長田村	(奉幣使)	田中	良吉		府 II	府中浅間神社 柴十郎弟
〃	府中	(奉幣使)	庁守	采女		府	府中浅間神社
〃	府中	(祭祀役)	庁守	直四郎	富士直四郎	府 I	府中浅間神社
〃	府中下石町	御剣役	築地	三郎四郎		府	府中浅間神社 (51.68石)
〃	府中下石町	(御剣役)	築地	帯刀	築地親雄	府 II	府中浅間神社 三郎四郎嫡子
〃	府中宮ヶ崎町	奉幣使	内藤	浪江	内藤昌健	府 II	府中浅間神社
〃	府中	奉幣使	中村	一学		府	府中浅間神社 (21.29石余)
〃	府中	(案主役)	中村	銅次郎		府 II	府中浅間神社 一学嫡子
〃	府中	竊馬奉行	村岡	彦九郎		府 II	府中浅間神社 (103.17石+13.174石)
〃	府中		大村	健藏		府	府中浅間神社
〃	府中		小黒	左門		府	府中浅間神社
〃	府中		久保田	静馬		府	府中浅間神社
〃	府中		高橋	八十八		府	府中浅間神社
〃	府中		長沼	斎宮		府	府中浅間神社
〃	府中		向笠	光三郎		府	府中浅間神社
有渡郡	八幡村	神主	八幡	主殿	八幡清雄	府留	八幡宮
〃	三保村	神主	太田	健太郎		府留	御穂神社

草薙村	神主	森 齋 宮	森 真魚尾	府	I	草薙神社	(50石)
草薙村	神主	森 太郎左衛門	森 元 温	留			
庵原郡町屋原村	神主	豊 積 主 膳	豊 積 勝	府	II	豊積神社	(16.8石余)
有渡郡清水尻	神主	新 谷 右 京	新谷 鉄次郎	府	II	少将井神社・府中小梳神社相殿神主 惣社宮内附属	
上清水村	神主	田 辺 左 京	新 谷 清 苗	府		八幡宮 惣社宮内附属	
南安東村	祠官	新 村 健次郎		府		西宮 惣社宮内附属	
北安東村	神主	中 村 内 記	中 村 安 雄	府	II	熊野神社 惣社宮内附属	
北安東村	(神主)	中 村 静 馬	中 村 静 雄	府	II	熊野神社 中村内記別家 惣社宮内附属	惣
北安東村	(神主)	中 村 市 郎		府	II	熊野神社 中村静馬弟	
安倍郡富沢村	祠官	内 藤 出 雲		府		白鬚神社 新宮兵部附属	
黒俣村	祠官	勝 山 治 郎		府		白鬚神社 新宮兵部附属	
志太郡川根田代村	祠官	神 谷 若 狭		府		神明天王 新宮兵部附属	
川根堀之内村	神主	加 賀 河 内		府		八幡宮 新宮兵部附属	
川根堀之内村	神主	林 近 江		府		牛頭天王 新宮兵部附属	
川根下泉村	祠官	森 出 羽		府		神明社 新宮兵部附属	
笹間村	祠官	奥 島 丹 後		府		大井明神 新宮兵部附属	
有渡郡八幡村	社人	鈴 木 弥 作		府		八幡宮 八幡主殿附属	
八幡村	社人	長 池 直 吉		府		八幡宮 八幡主殿附属	
八幡村	社人	中 村 雄 平		府		八幡宮 八幡主殿附属	
安古村	祠官	才 茂 佐兵衛		府		白鬚神社(安居村カ) 八幡主殿附属	
南安東村	祠官	中 村 勅 負		府		三ノ御前 八幡主殿附属	
三保村	社人	宮城嶋 源之助		府		太田健太郎附属	
三保村	社人	宮城嶋 志 摩		府		太田健太郎附属	
三保村	社人	宮城嶋 藤 三	宮城嶋 藤 藏	府	II	太田健太郎附属	
三保村	社人	宮城嶋 肥 後	宮城嶋 龍 太	府		太田健太郎附属	
下清水村		長 沢 隼之助		府		森齋宮附属	
江尾村南小路		稲 葉 出 雲		府		森齋宮附属	
草薙村	祠官	朝比奈 舍 人		府		森齋宮附属	
益津郡焼津村	神主	鈴 木 楯 雄	桑 原 楯 雄	山	I	焼津神社	
焼津村	(神主)	鈴 木 銃太郎	鈴木 銃三郎	山	II	焼津神社 鈴木楯雄弟	
焼津村	(神主)	鈴 木 外 記	鈴木 五百枝	留		焼津神社	
志太郡八幡村	神主	青 山 伊豆守		山		青山八幡宮	
八幡村	社家	浅 井 伊 織		山		青山八幡宮	
八幡村	社家	石 橋 主 税		山		青山八幡宮	
花倉村	神主	石 上 兵 部	石 上 勅 負	山		八幡宮	
内瀬戸村	神主	岩 本 甚三郎		山		神明社	

” 瀬戸谷村	神主	佐藤花太夫	山	諏訪社・天王社
” 一ノ瀬村	神主	遠藤左京	山	高根権現
” 一色村	神主	渋谷帯刀	山	八幡宮
” 三輪村	神主	武藤左門	山	輪神社
益津郡焼津村	社家	飯塚東	山	焼津神社 鈴木楯雄附属
” 郡村	神主	見習大楠主計	山	大井神社 鈴木楯雄附属
” 益津村 (志太郡藤枝宿) 志太郡滝沢村	神主	松岡民部	山	飽波神社 鈴木楯雄附属
” 相賀村	祠官	飯塚備前	山	天王社 鈴木楯雄附属
” 田尻村	神主	石田大内蔵	山	白山権現 鈴木楯雄附属
” 田尻北村	祠官	神谷式部	山	八幡宮 鈴木楯雄附属
” 落合村	祠官	神谷数馬	山	八幡宮 鈴木楯雄附属
” 落合村	祠官	長谷川三郎兵衛	山	春日大明神 鈴木楯雄附属
” 浜当目村	社守	松下平太夫	山	那閉神社 鈴木楯雄附属
” 岡部駅	神主	松下斎官	山	若宮八幡宮 鈴木楯雄附属
” 相賀村	祠官	山田治兵衛	山	天王社 鈴木楯雄附属
甲斐国巨摩郡高畑村	農民	秋山喜太郎	(II)	
” 諏訪村	浪人	金丸保之助	II	武田浪人
” 諏訪村	(浪人)	松下次郎助	II	金丸保之助附属
” 荒川村	神主	窪田伊賀	II	諏訪社・大宮社両社神主
” 御嶽山	神主	内藤内匠	II	金桜神社
相模国高座郡寒川村	(神主)	金子宮内	II	寒川神社 金子伊子嫡子 (100石)
” 羽鳥村	祠官	竹内伯耆	II	広田・天王・稻荷三社相殿祠官
鎌倉郡戸塚駅	祠官	長坂主税	II	八幡社・諏訪社両社祠官
駿河国駿東郡沼津駅	神主	神尾因幡守	東	九子大明神・富士浅間神社
” 沼津駅	神主	神尾式部	東	九子大明神・富士浅間神社
” 沼津駅	神主	神尾政次郎	東	九子大明神・富士浅間神社
” 沼津駅	神主	川口能登	東	日吉山王
” 沼津駅	祓	宜工藤石見	東	第六天神
” 沼津駅	祓	宜工藤斎宮	東	第六天神
” 青野村	神主	興津主膳	東	愛鷹大明神
” 青野村	神主	興津馬之助	東	愛鷹大明神
” 大平村	祓	宜磯但馬	東	鷲巢社
” 岡之宮村	神主	植松伊織	大東	I 富士浅間神社
” 香貫村	神主	高田隼人	東	大富大明神
” 島谷村	祓	宜鈴木金四郎	東	熊野三社
駿河国駿東郡茶藪沢村	鍵取	江藤伝兵衛	東	浅間神社

駿河国駿東郡茶苺沢村	鍵	取	半右衛門	東	浅間神社
〃 茶苺沢村	鍵	取	元右衛門	東	浅間神社
〃 茶苺沢村	鍵	取	忠右衛門	東	浅間神社
〃 菅沼村	神	主	高 村 右 近	東	山王宮
〃 須走村	神	主	小 野 大 和	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	小 野 権太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	梶 与三太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	小 松 善太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	菅 沼 庄太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	外 川 平太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	高 相 茂太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	高 相 利太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	高 村 源太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	高 村 助太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	高 村 七太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	早 野 吉太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	米 山 喜太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	米 山 久太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	米 山 十太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	米 山 甚太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	米 山 惣太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	米 山 長太夫	東	富士浅間神社
〃 須走村	御	師	米 山 藤太夫	東	富士浅間神社
〃 須山村	神	主	渡 辺 但 馬	東	富士浅間神社
〃 須山村	祝		渡 辺 隼 人	東	富士浅間神社
〃 須山村	御	師	土 屋 久太夫	東	富士浅間神社
〃 須山村	御	師	土 屋 八太夫	東	富士浅間神社
〃 須山村	御	師	土 屋 平太夫	東	富士浅間神社
〃 西田中村	神	主	勝 亦 石 見	東	八幡宮
〃 西田中村	鍵	取	芹 沢 将 監	東	神明宮
〃 東田中村	神	主	内 海 斎 宮	東	二岡七社
〃 東田中村	神	主	内 海 内 記	東	神明宮
〃 八幡村	神	主	岩 崎 常 陸	東	八幡宮
〃 原 駅	祢	宜	植 松 門 弥	東	富士浅間神社
〃 深良村	神	主	増 田 日 向	東	神明宮
〃 古沢村	神	主	高 村 近 江	東	富士浅間神社

豆州伊吹隊関係名簿

<伊豆国>

出身	身分	氏名	別名	摘要
伊豆国君沢郡社家村他	神主	矢田部 式部		○ 三島神社神主
〃	神主	矢田部 鶴次郎	矢田部 盛次	○ 式部倅
〃	神主	矢田部 又三郎	矢田部 盛一	○ 式部弟
〃	神主	矢田部 岩三郎	のち杉浦 幹	○ 式部次男
〃	社家	青木 金助		○ 以下渡辺文右エ門まで矢田部式部支配下
〃	社家	青木 作次郎		○
〃	社家	板谷 右近	板屋 右近	○
〃	社家	井口 惣左衛門		○
〃	社家	井口 政吉		○
〃	社家	井口 鞠負		—
〃	社家	上田 大吉		○
〃	社家	植松 菫		○
〃	社家	植松 定次郎		○
〃	社家	植松 秀吉		○
〃	社家	植松 奎之助		—
〃	社家	大村 采女		○
〃	社家	大村 采作		○ 采女倅
〃	社家	大村 刑部太夫		○
〃	社家	岡谷 与右衛門		○
〃	社家	勝 又弥 助		○
〃	社家	河合 右次郎		○
〃	社家	河合 浦太郎		○ 龍節倅
〃	社家	河合 多吉		—
〃	社家	河合 平馬		○
〃	社家	河合 由太夫		○
〃	社家	河合 龍節		—
〃	社家	河野 伊太夫		—
〃	社家	河野 左門		—
〃	社家	河野 惣七		○
〃	社家	河野 多膳		○
〃	社家	河野 多宮		○
〃	社家	河野 文助		○ 多膳倅
〃	社家	栗田 滑助		○
〃	社家	小出 定之進		—

〃	社	家	神	戸	伊	兵	衛	〇	
〃	社	家	小	松	帶	刀		〇	
〃	社	家	近	藤	定	之	丞	〇	
〃	社	家	近	藤	常	次	郎	〇	
〃	社	家	近	藤	安	兵	衛	〇	
〃	社	家	近	藤			幹	一	
〃	社	家	清	水	喜	代	太	〇	
〃	社	家	清	水	大	吉		〇	多門倅
〃	社	家	清	水	多	門		〇	
〃	社	家	関		四	郎	治	一	
〃	社	家	関	根	儀	七		〇	
〃	社	家	関	根	惣	兵	衛	〇	
〃	社	家	大	德	院			〇	
〃	社	家	高	田	彦	兵	衛	〇	
〃	社	家	田	中	才	兵	衛	一	
〃	社	家	伊	達	信	濃		〇	
〃	社	家	伊	達	民	部		〇	
〃	社	家	土	屋	惣	八		〇	
〃	社	家	土	屋	利	七		〇	
〃	社	家	鳥	居	伊	平		一	
〃	社	家	鳥	居	重	柴		一	
〃	社	家	鳥	居	丹	下		〇	
〃	社	家	鳥	居	矢	柄		一	
〃	社	家	長	倉	惣	吉		〇	
〃	社	家	長	田	源	左	衛	〇	
〃	社	家	長	田	重	左	衛	〇	
〃	社	家	中	山	吉	左	衛	〇	重左衛門倅
〃	社	家	西	井	幸	右	衛	〇	
〃	社	家	沼	上	徳	兵	衛	〇	
〃	社	家	波	多	野	頼	母	〇	
〃	社	家	波	多	野	主	税	一	
〃	社	家	波	多	野	藤	藏	〇	
〃	社	家	波	多	野	縫	之	〇	頼母倅
〃	社	家	波	多	野	彦	太	〇	
〃	社	家	日	比	谷	大	吉	〇	斉倅
〃	社	家	日	比	谷		斉	一	
〃	社	家	堀	池	伊	兵	衛	一	
〃	社	家	堀	池	儀	助		〇	

"	社	家	堀池治助		○	
"	社	家	堀池重郎右衛門		—	
"	社	家	堀池庄兵衛		—	
"	社	家	堀池万四郎		○	
"	社	家	前島伊三郎		—	藏之丞倅
"	社	家	前島四郎太夫		—	
"	社	家	前島政次郎		○	
"	社	家	前島清太夫		○	
"	社	家	前島藏之丞		○	
"	社	家	森四郎		○	
"	社	家	山田久八		○	
"	社	家	山本孫兵衛		○	
"	社	家	和十郎		○	
"	社	家	脇田源治		—	
"	社	家	脇田将監		○	
"	社	家	渡辺惣左衛門		○	
"	社	家	渡辺文右衛門		○	
田方郡北条郷	神	主	楨大和		—	玉鉦隊員 守山八幡宮神主
" 北条郷	神	主	楨藤之進	藤	三	○ 玉鉦隊員 大和倅
" 田中郷	神	主	西島伊織		—	玉鉦隊員 深沢大明神神主
" 田中郷	神	主	西島民部		○	玉鉦隊員 伊織倅
" 田中郷	神	主	西島文太郎		—	玉鉦隊員 民部倅
" 加殿村	神	主	小川勅負	信	邦	○ 玉鉦隊員
" 加殿村	神	主	小川弥	信	正	— 玉鉦隊員 勅負倅
君沢郡堀上村	神	主	小川伊予	信	久	○ 玉鉦隊員
" 四日町村	祠	官	広瀬丹後		—	玉鉦隊員 牛頭天王祠官
" 塚本村	宮	守	鈴木兵庫		—	玉鉦隊員 万後大明神宮守
" 柏谷村	神	主	泉明寺出雲		—	玉鉦隊員 山王大権現神主
" 柏谷村	神	主	泉明寺小三郎		—	玉鉦隊員 出雲倅
" 柏谷村	神	主	石井豊後		—	玉鉦隊員 若宮八幡宮神主
" 原木村	祢	宜	渡辺兵庫		—	玉鉦隊員 茨城大明神祢宜
" 南江間村	祢	宜	江間喜太夫		—	玉鉦隊員 熊野権現祢宜
" 多田村	神	主	梅原内膳		—	玉鉦隊員 熊野宮神主
" 宇佐美村	神	主	北山掃部		—	玉鉦隊員 天神神主
" 北江間村	宮	守	諸岡民部		—	玉鉦隊員 豆塚大明神宮守
" 柏久保村	祢	宜	岡田出雲		—	玉鉦隊員 住吉大明神祢宜
" 間宮村	祢	宜	遠藤左近		—	玉鉦隊員 神明宮祢宜
" 上多賀村	祠	官	野田雅楽		—	玉鉦隊員 砂大明神祠官